



教育目標～夢をもち 心豊かに とともに未来を切り拓く～



令和6年(2024年)10月31日
豊中市立北丘小学校
学校だより 10号

きたおか



秋も深まり、今年もあと2カ月を残すばかりとなりました。今月は、音楽発表会が行われます。また、校外学習に行く学年や、公開授業を行う学年、出前授業を受ける学年等、まさに充実の秋を迎えます。8月下旬から始まった2学期は、折り返し地点を過ぎました。2学期後半もがんばる子ども達に、ぜひ大きなエールを送っていただきたいと思います。

5年 林間学舎



10月3日(木)・4日(金) 5年生は、

わっぱるへ林間学舎へ行ってきました。初めての宿泊学習で、みんなドキドキ。天気はあいにくの雨でしたが、全てのレクを予定通り実施しました。1泊だけの宿泊でしたが、たくましい顔つきで帰ってきたことが、とても印象的でした。来年は修学旅行。6年間の集大成です。素晴らしいものにしよう!



おもちゃまつり



10月9日(水) 2・3限におもちゃまつりが開催されました。2年生生活科の学習の一環で、各クラスで、輪投げや魚釣りなど、いろいろなおもちゃを作って、1年生を招待して一緒に遊びました。すべて手作りで、ルールも優しく教えてあげていました。1年生も、2年生も、みんなの笑顔がとても輝いていて、楽しい時間を過ごしました。素敵な異学年交流で中を深めてくれました。

人権参観・懇談会

10月11日(金)に人権参観・懇談会

がありました。各学年・各学級、人権教育についての学びを深め、学級懇談会では、参観授業をもとに、感想や意見を交流し、児童の様子等を共有することができました。



ぜんこくがく おおさかふ けっか 全国学テ・大阪府すくすくテストの結果について

【全国学力・学習状況調査】

4月18日に実施され、7月に結果が公表されました。このテストの結果に一喜一憂するのではなく、自分の課題をはっきりさせ、残りの小学校生活でどんな力をつけて、中学に向けてがんばっていくべきかを考えてほしいと思います。本校の結果分析と課題について以下にお知らせします。

ただし、この調査結果は、学力や学習状況の一部であり、児童の学習状況、教育活動のすべてを表すものではありません。それを踏まえたうえで、学校と家庭・地域が課題を共有し、連携を深めて取り組んでいくことを目的として、お知らせします。

○個人差はあるが、全体的には国語・算数ともに基礎・基本は理解はできており、どちらの教科も全国平均正答率・大阪府平均正答率を大きく上回っている。

◎国語：「書くこと」「読むこと」がよくできている。

△国語：「話すこと・聞くこと」は、他の領域に比べて少し正答率が低い。

◎算数：「図形」「変化と関係」等の領域はとてもよくできている。

△算数：他の領域に比べて「データの活用」領域に課題が見られる。



○この他、児童質問紙の結果では、「学校に行くのは楽しい」「人が困っているときは、進んで助ける」児童が多いのに対し、「自分には、良いところがある」の項目でポイントが低いのが気になるところである。

【大阪府小学生すくすくテスト】

4月17日に5年生・6年生を対象に実施されました。大阪府が実施したこのすくすくテストとは、子どもたち一人ひとりが、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力等を向上させ、これからの予測困難な社会を生き抜く力を着実につけることを目標に実施されました。自分の学びをふりかえり自らの強みや弱みなどを知って新たな目標をたて、強みをのばすことや課題を克服すること等に取り組んでほしいと思います。本校の結果分析と課題について以下にお知らせします。

【6年生】

○6年生 理科について

大阪府の平均正答率63.7%に比べ、本校6年生の平均正答率は71.9%であった。問題形式別に見てみると、選択式や短答式よりも、記述式の正答率が低く、40%を下回っている。

○6年生 わくわく問題（教科横断型問題）について

各クラス、大阪府の平均正答率68.5%に比べ、上回っている。本校6年生全体の平均正答率は77.5%である。「理由や根拠を明確にして伝える」力に課題がある。

【5年生】

○5年生 国語について

大阪府の平均正答率73.4%を上回り、各領域で大阪府の平均を上回った。本校5年生の平均正答率は83.7%であったが、特に、「言語文化に関する事項」や「言葉の特徴や使い方に関する事項」が大きく上回っていた。

○5年生 算数について

大阪府の平均正答率36.7%に対し、本校5年生の平均正答率は55.6%であった。どの領域においても、差が顕著であったが、「データの活用」領域と「図形」領域に差が大きく見られた。

○5年生 理科について

各領域ともに、大阪府平均正答率を上回った。大阪府平均正答率61.9%に対し、本校5年生の平均正答率は73.8%であった。近年、理科嫌い児童の増加傾向にあるが、本校5年生児童は、理科が得意な児童が多い？結果となった。

○5年生 わくわく問題（教科横断型問題）について

大阪府の平均正答率57.9%をやや大きく上回り、本校5年生の平均正答率は72.2%であった。特に、「文章から読み取る」問題の正答率が非常に高く、76.5%であった。強いて、課題を挙げるとすれば「会話から読み取る」力であり、その力を今後伸ばしていきたい。